



特集 伝えたい、寺尾のこと。

四季折々の草花、のどかな田舎風景、歴史あるお城そば、寺尾の魅力がみんなに伝えて、地区をもっと元気に、そんな思いをもって、新たに就任した、地域おこし協力隊の挑戦がはじまっています。



より魅力的に

写真や図の配置にすぐれたA4判の特徴を活かし、目で見ても楽しめる特集記事などをお届けしていきます。

今回のリニューアルでは、より良い紙面をお届けするため、昨年発行の「広報とちぎ 12月号」をもとにした見本紙(※)を作成しました。この見本紙をもとに、新しくなる広報とちぎの3つの特徴をご紹介します。

※試験的に作成したものであるため、発行いたしません。



新しい広報とちぎの3つのポイント

より手軽に

A4判になることでサイズもコンパクトに。手に取って読みやすい大きさになり、保管もしやすくなります。また、パソコンやタブレット、スマートフォンなど、画面の小さな電子端末でも読みやすくなります。



より読みやすく

多くの情報をお届けする「インフォメーション」のコーナーは、8段→5段にし、ゆったりとした段数に。一行当たりの文字数も12文字→14文字に増やし、余裕をもって読めるレイアウトに変更します。

ここが知りたい! 新しい広報とちぎ Q & A

Q 内容が変わってしまうの?

A 基本的な構成は同じです

これまでと同じ内容でお伝えしていきます。ただし、紙の大きさの変更によりデザインの変更や、掲載場所・順番が変更になるコーナーがあります。

Q 掲載される情報量が減ってしまう?

A これまでと同じ分量でお知らせできます

A3判の時に使えなかったスペースを活かし、また文章や写真のレイアウトを工夫することで、記事の分量が同じになるよう調整しています。

Q フルカラーだと印刷代が高くなるんじゃない?

A これまでと同様です

A3で必要だった4つ折りの工程がなくなるほか、効率的に印刷できる仕様に見直します。それにより、印刷費用はA3と同等以下になる見込みです。(※ただし、印刷用紙の市場価格が毎年変動するため、これまで同様、年ごとに増減があります。)

Q 紙が重くなって配りにくくならない?

A A3と同じ重さになります

紙の種類は同じままで、A3判16頁⇒A4判32頁となりますので、全く同じ重さとなります。A3判と比べ、紙を折る回数が1回少なくなるため、梱包が少しすっきりとします。

Q 自治会での配布方法に変更が必要?

A これまでと同じ方法で配ることができます

現在のA3判二つ折りと新しいA4判は、広げる前の状態では同じ大きさです。特に配布方法を変更していただく必要はありません。また、配布の日もこれまでと同様です。

ご存知でしたか? 広報とちぎは色々な方法で読むことができます

紙で

- 各自治会から(自治会の皆様のご協力により配布しています)。
- 市内の公共施設、コンビニエンスストアなど市内の協力店舗に設置。(コンビニには「折り込みチラシ」も一緒に設置しています。)

パソコン・タブレット

- 栃木市ホームページ(→「広報とちぎ」で検索) PDFファイルで閲覧できます。発行日の9時ごろまでに掲載されます。バックナンバーも見られるほか、合併前の旧市・町の広報紙も。
- 栃木イーブックス 県内の各市町の広報紙や観光パンフレットなど。ウェブブック形式で閲覧できます。
- マイ広報紙 企業などが2次利用しやすい「オープンデータ」形式で、全国の広報紙を配信しています。

アプリ(スマートフォン・タブレット)で

- 広報紙アプリ「マチイロ」 全国の自治体の広報紙などをご覧いただけます。発行日にスマートフォンに通知することもできます。

声の広報

- 視覚に障がいのある方を対象に、市内のボランティア団体が毎月作成しています(カセットテープ、CD、SDカード)。詳細は広報課(☎(21)2318)へ。

広報とちぎ点字版

- 広報とちぎの掲載記事の中から記事をピックアップし、2か月に1回発行しています。詳細へ広報課(☎(21)2318)へ。

広報とちぎの発行日(配布日)は毎月20日

- ※20日が土・日・祝日の場合、直前の平日
- ※4月の配布(5月号)は、4月25日(25日が土日の場合、直前の金曜日)です。新しくなる次号は、4月25日(月)に配布します。